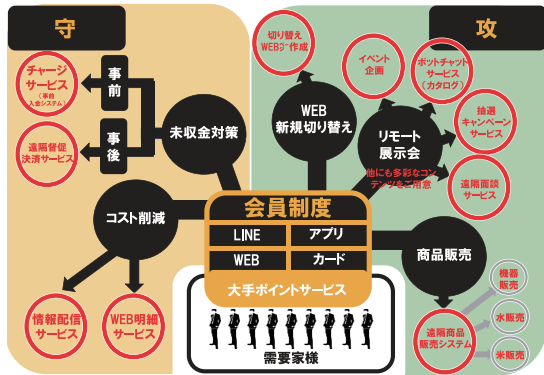
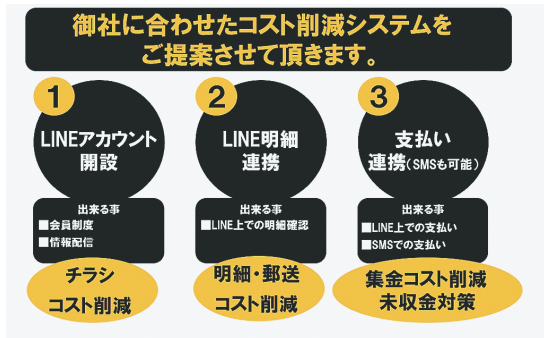


コロナ時代を生き抜く2つの新サービス



クラブネットスが展開する
ガス業界向けシステム図



LINEを利用したコスト削減システム

クラブネット

コスト削減システムを開発 LINEに公式アカウント開設

CNポイント(地域共通ポイント)事業の企画・販売を手掛けるクラブネット(東京都渋谷区、富安仁社長)は、LPガス料金請求業務コスト削減システムを開発した。LPガス事業者がLINE公式アカウントを開設し顧客がWEB上で明細の確認から支払いまでを行うことで、明細書作成

重要なことは会員制度成のコスト削減につながる。8400万人以上といわれるLINE利用者層は、LPガス顧客もカバーしており、LPガス事業者が公式アカウントを開設し、販促インフラとして利用すればチラシ作成の

システムの流れは、請求確定のお知らせ、顧客がWEB上で明細を確認

の構築。多くの顧客に自社の会員となってもら

認、支払いとなる。支払いの方法は、クレジットカード以外にもQRコード決済、携帯電話の料金にまとめるキャリア決済、LINEPAY

ているのが、リモートガ展。自社ホームページに設置し、直接アクセスすることや、スマホアプリのLINE公式アカウントからアクセスし、ガス展に参加するという方法だ。ホームページ上のガス展特設サイトのコンテンツは、クラブネットが作成する。

未収金情報の配信も行う。LINEユーザーだけでなく、SMSにも配信できる。未収金問題はLPガス事業者の悩みの種。クラブネットは、現在の未収金情報配信に加え、事前と事後に対応するシステムも開発中。事前の策としてはプリペイドシステムがある。事後(回収不可)については売掛金保証制度などを検討中だ。

訪問営業がしにくい状況だが、一方でSNSやインターネット利用は増加している。ガス展が中止となれば最大の商機を失うことになる。今できることは、WEBを活用した顧客囲い込み強化しかない。リモートガス展なら、リアルなガス展よりコストや労力がかからないし、ホームページやLINEアカウントと機器メーカーのサイトをリンクすれば、機器メーカーからの協賛金も期待できる。

リモートガス展の提案
クラブネットがサポート

新型コロナウイルス感染症問題から、毎年恒例のガス展を中止するLPガス事業者が続出している。貴重な顧客接点の機会が失われることは痛手となる。

解決手段のひとつとしてクラブネットが提案し

ツール提供、ホームページ設定などでサポートを行う方針だ。

クラブネットが展開するガス業界向けシステム図

クラブネットは、リモートガス展を行うための